

ビル清掃技術 3社4人競う

県協会

県ビルメンテナンス協会は29日、福井市の県産業会館で「第18回県ビルクリーニング技能競技会」を開いた。3社から4人が出場し、日ごろの業務で培った技術を競った。写真。

清掃技術の向上を目的に



同協会が毎年開催。新型コロナウイルスの影響で3年ぶりの実施となった。出場者らは事務机やいす

が置かれた20平方メートルの床を、モップでほこりを取った後に洗浄、ワックスを掛けて仕上げた。20分の時間内に完了できるように、手際よく作業していた。

小林寛和さん（太平ビルサービス）は「床の隙間まできれいになるよう心がけたが、時間がかかってしまったのが反省点」と振り返った。

（横畑俊介）